

専修大学校友会「執行部会」次第

1. 日 時 令和7年11月13日（木）19時00分

2. 場 所 神田校舎6号館5階会議室

3. 議 題
(1) 令和7年度事業報告（中間報告）（案）について
(2) 令和7年度中間収支決算報告（案）について
(3) 校友会創立140周年記念事業に関する委員会の設置について
(4) その他

4. 諸報告
(1) 校友会グリーンカップ・ゴルフ大会の開催結果について
(2) 専修大学ホームカミングデー2025の実施結果について
(3) 「黒門俱楽部」の現状報告について
(4) 「専 SHOKU NET」の現状報告について
(5) その他

配付資料

- 1 令和7年度 事業報告（中間報告）（案）
- 2 令和7年度 中間収支決算書（案）
- 3 校友会創立140周年記念事業に関する委員会の設置について
- 4 第40回専修大学校友会グリーンカップ・ゴルフ大会順位表（一般・シニア）、
コンテスト・特別賞、景品及び寄付提供者ご芳名
- 5 今後の会議・行事等日程について

以 上

令和7年度 事業報告（中間報告）（案）

（令和7年4月1日から令和7年9月30日まで）

○令和7年度事業の基本的な考え方について

- 1 令和7年度は、コロナ禍で停滞した校友会活動をコロナ禍前の水準に戻すことを基本としながら、新規事業を積極的に計画し、一層の活性化を図っている。
- 2 校友会活動の重点事項は、従来どおりに①本部活動の強化、②支部活動の促進支援、③大学・学生への援助協力の3点を主眼として推進している。
- 3 本部活動については、主な推進事業として、「黒門俱楽部」の強化・拡大支援、「専 SHOKU NET」サイトの活用促進、校友会創立140周年（令和9年度）への準備・検討などを主な事業計画の柱として掲げており、これら事業を含めた各種取り組みにより校友会全体の活性化を目指して効果的に推進している。
なお、校友会財政基盤の源である年会費については、近年、納入者数が減少の一途にあつたが、様々な増加対策を推進してきた結果、令和3年度から令和6年度までの4年連続で増加しており、令和7年度においても、引き続き、増加対策を重点として推進している。
- 4 支部活動の支援については、令和5年度に改正した「支部活動支援パッケージ」の活用促進を図るとともに、支部総会等へ出来る限り校友会長をはじめとする本部役員及び親善大使を派遣するなどして、支部活動活性化への支援を積極的に行ってている。
- 5 大学・学生への援助協力については、大学業務への支援、学修環境整備への支援、学生生活への支援、学生の文化・スポーツ活動への支援を継続的に実施するほか、『専修大学・石巻専修大学「社会知性（Socio-Intelligence）の開発」推進募金』への支援協力を実施している。

○事業項目別報告について

I. 校友会組織の強化

1. 支部の活動支援、結成促進等

(1) 支部活動への支援 (支部数)

令和7年9月30日現在

支部区分	支部数	備考
地域支部	201 (連合 24 含む)	*現在、職域支部「専修大学体育会O B O G 連合会」の設立準備中
同窓会支部	2	
海外支部	6	
職域支部	67	
同期会支部	39	
特別支部	1	
合 計	316	

(2) 支部と本部との連携強化

支部会員に校友会及び母校の活動状況が把握できる資料を送付するなど、支部活動への支援を実施した。

支部活動	支部総会等総数 59	本部役員派遣 38
配布資料	校友会誌『鳳翼』、『ニュース専修』、『校友会年会費納入のご案内』、『校友会年会費振込用紙』、『校友会のご案内』、『専 SHOKU NET サイトリニューアル』、『専修大学・石巻専修大学への募金のお願い』、『専修大学グッズカタログ』、『アンケート』等	

(3) 「ネットでも繋げよう校友会」の推進

①支部ホームページの活用促進

支部活動の活性化に資するため「ネットでも繋げよう校友会」の推進・普及を図った。

具体的には、本部のホームページ（H P）内に支部単位のH Pを作成し、そこにリンクを可能にすることで、支部内及び校友会内の情報伝達・交流が一層、広く・早く・活発に行え、支部活動を中心とした校友会活性化の一助になることを目的としている。

9月30日現在、希望した各支部の支部H P管理責任者にID・パスワードとマニュアルを渡し、運用を開始している支部は316支部中76支部である。

②「専 SHOKU NET」サイトの活用促進

令和5年11月に開設した「専 SHOKU NET」は、校友が経営する飲食店をサイト上で紹介し、会員や準会員（学生）など大学関係者の利用に供することにより校友会活性化の一助にすることを目的としている。令和6年12月にはサイトをリニューアルし、視認性を高めるとともに検索方法等の改善を行い、また、掲載店は飲食店以外に飲食物に関わる通販を含む製造者、卸店、販売店にも拡大し、現在、掲載店は106店舗となった。

ワーキンググループ（リーダー：山口美代子副会長）では定期的に会合を開催すると

ともに、首都圏以外の大都市圏在住の校友をアドバイザーとして迎えてエリアごとの掲載店舗情報を充実させたり、SNSでの情報発信を拡大していくなどサイトの利用者数や掲載店舗の増加を図るため、引き続き様々な取り組みを推進していく。

(4) 「支部活動支援パッケージ」の活用促進

【参考】令和5年4月1日付けで一部改正した概要

- ア) 支部総会出席者のうち来賓等を除く支部会員数に1,000円を乗じた額を支給。
- イ) 補助対象となる周年行事を5年単位とし、開催にあたり支部の予算を超える経費がかかる場合、その経費の一部について100,000円を上限に補助。
- ウ) 支部の新設又は長期間活動を停止していた支部が活動を再開する場合、100,000円を上限に補助。
- エ) 支部の新設又は再活動を近隣支部が支援協力する場合、50,000円を上限に補助。

① 事務補助費の支給状況

令和7年度の事務補助費の支給と支部員参加人数の分布は以下の通り。

支部員の参加者数	20名以下	21名～40名まで	41名～60名まで	61名～80名まで	81名～100名まで	101名以上	合計
対象支部数	29	6	2	2	0	0	39
支給金額合計(円)	389,000	183,000	98,000	142,000	0	0	812,000

※事務補助費の支給対象とならない来賓等を除いた数字を記載。

※釧路支部、佐藤工業専大会、九州・沖縄連合会、大分支部、宮崎支部、埼玉校友会、岩手県支部連合会は、9月末現在、報告書未提出のため上記集計から除く（いずれも9月末までの開催）。

② 支部総会以外の支部会員全体を対象とする行事（例：研修会、親睦会、ゴルフ大会等）への事務補助費の支給

年1回に限り10,000円の事務補助費を支給できる。9月30日現在、11支部に支給した。

③ 特別活動補助費の支給

支部設立を記念する事業（5周年単位の事業が対象）において、特別な行事（例：総会、講演会、映画会、落語会、音楽会、記念誌・パンフレットの発行・印刷、通信費等）を実施し、支部の予算を超える経費がかかる場合は、その経費の一部について原則として100,000円を上限に支援することができる。

9月30日現在、3支部（不動産建設黒門会設立15周年記念式典、足立支部設立70周年記念式典、八戸支部創立60周年記念講演会）に支給した。なお、大分支部創立75周年記念総会は補助金申請しており、9月中に開催したが報告書未提出のため未支給。

④支部新設等活動補助費の支給

【参考】のウ)、エ)に記載のとおり、支部の新設又は既存支部が活動を再開（長期間活動を停止していた支部）する場合と、支部の新設又は再活動を近隣支部が支援協力する場合は、活動補助費を支給することができる。9月30日現在、該当なし。

(5) 支部の結成促進、休眠支部の再活動支援

①専修大学体育会OB・OG会の設立支援

既存の任意団体である「専修大学体育会OB・OG会」（会長：笠原鐵男氏）から同会を校友会の支部組織化したい意向が示されており、その支援を校友会事務局が中心に行っている。11月1日（土）には総会が開催される予定となっている。

②豊島支部の再興支援

支部活動が休眠状態にある豊島支部（東京都）の再興を支援するため、校友会執行部会の組織部が対応を開始する予定である。再興時期は未定。

(6) 校友データの整備（ネット連絡網の整備を含む）

①郵送による住所調査

年会費未納者を対象に現住所の調査を行った。

- ア) 第1回目（4月）平成1年～4年卒業（59歳～56歳）の年会費未納者8,999名に発送。
- イ) 第2回目（7月）昭和46年～47年卒業（54歳～53歳）のうち、過去2年間発送対象外であった年会費未納者3,000名に発送。

※今後、年度内に第3回目の発送を予定している。

②SMS（ショートメッセージサービス）配信による住所調査

スマートフォンの普及、かつ卒業年数の浅い校友は在学時に携帯電話の登録がなされていることから、SMS配信による住所調査を実施している。

配信内容は以下のとおりである。

- ア) 第1回配信：7月30日

送達件数：4,239件

配信対象：令和7年3月卒業生

配信内容：住所調査及び定時総会ご案内他

ランディングページ開封数：1,232件（開封率29.1%）

※今後、年度内に第2回目の配信を予定している。

③校友数と住所把握者数（令和7年9月30日現在）

大学	校友数	住所把握数(%)	永眠校友把握数
専修大学	301,837		
石巻専修大学	14,027		
専修大学北海道短期大学	12,199		
特別会員・推薦校友等	172		
賛助会員	34		
合計	328,269	207,872(65.6%)	11,401

備考1. 「住所把握率」は、「住所把握数 ÷ (校友数 - 永眠校友把握数)」で算出。

備考2. 令和7年9月20日付け学期末卒業生については、令和7年度末に一括して校友として計上するため、この時点では校友数に加えていない。

2. 本部活動体制の強化

(1) 執行部会の連携強化・活動促進

定時総会等の事業計画に基づく行事を中心に、執行部の一層の連携強化を図り推進している。今後、グリーンカップ・ゴルフ大会、ホームカミングデー、ワイン大学等の開催にあたっても執行部員による協力を得ながら運営するとともに、執行部会ごとの活動を活性化するため柔軟な対応を行っていく。

(2) 親善大使による活性化推進

親善大使を委嘱している①元プロ野球選手・芝池 博明氏 (S44. 商業)、②りそな銀行元執行役員・横瀬 三亀夫氏 (S50. 商業)、③大相撲・阿武松親方 (元大道関・中西 健二氏) (H17. 経営)、④プロボクシング第29代WBC世界バンタム級チャンピオン・山中 慎介氏 (H17. 商業) の4名は、本部の要請により本部行事や支部総会等に出席し、講演や参加者との交流などにより、校友会活動を盛り上げている。

(3) 「専修大学校友会黒門俱楽部」への協力・支援

「黒門俱楽部」は、校友会の一層の活性化と大学への更なる支援・協力を目指すため、校友の全国的な組織として令和5年5月から設置検討が始まり、令和6年7月6日(土)に特別支部として設立した。

設立後の本格的な活動の稼働にあたり事務局機能が未整備であったため、令和7年2月、暫定的に「黒門俱楽部推進検討会」(リーダー:桃野直樹校友会長)が置かれることとなり、合議制による運営を行うこととなった。推進検討会のメンバーは、校友会の副会長と執行部員を中心とした有志23名であり、統括班、庶務班、会計班、名簿管理班、広報班、支援班のいずれかに所属しながら組織的な対応を推進している。

令和7年前期の活動は、3月及び5月に俱楽部員の入会募集を行ったところ、令和7年7月5日(土)の第2回総会時までに約230名の俱楽部員が集まり、約90名の俱楽部員が総会に出席した。

総会において、令和7年度は俱楽部員の勧誘と拡大に注力することが承認されたため、9月と11月に更なる会員募集案内を発送し、当面の目標として俱楽部加入者1,000名を達成するため尽力している。

なお、7月の第2回総会時を期に会費の徴収を開始しており、早期に自立した支部活動が行えるよう体制強化を図っている。

【参考】

① 黒門俱楽部の代表・副代表・顧問一覧

(代表) 今野 邦廣氏 (S38 商経経)	株式会社レスター会長 兼 CEO
(副代表) 金子 正明氏 (S38 商経商)	メキシコシティ五輪レスリング金メダリスト
同 桃野 直樹氏 (S42 法律)	専修大学校友会長
同 芝池 博明氏 (S44 商業)	元プロ野球選手、校友会親善大使
同 村山 正道氏 (S48 商業)	株式会社立飛ホールディングス代表取締役社長
同 横瀬三亀夫氏 (S50 商業)	元りそな銀行執行役員、校友会親善大使
同 工藤 章氏 (S51 商業)	モントリオール五輪レスリング銅メダリスト
同 永島 敏行氏 (S54 人文)	俳優
同 浜田 靖一氏 (S55 経営)	衆議院議員
同 桂 小文治氏 (S55 商業)	落語家
同 松村 祥史氏 (S62 経営)	参議院議員
同 北川 大介氏 (H02 商業)	演歌歌手
同 木村勝千代氏 (H02 国文)	浪曲師
同 加藤 良明氏 (H03 商業)	参議院議員
同 やまもと きょうこ氏 (H03 商業)	ラテンジャズヴォーカリスト
同 小熊 慎司氏 (H04 法律)	衆議院議員
同 長谷部 健氏 (H08 会計)	渋谷区長
同 奥下 剛光氏 (H10 商業)	衆議院議員
同 山中 慎介氏 (H17 商業)	ボクシング第29代WBC世界バンタム級チャンピオン、校友会親善大使
(顧問) 日高 義博氏 (S45 法律)	学校法人専修大学総長
同 松木 健一氏 (S48 法律)	学校法人専修大学理事長
同 馬場 杉夫氏 (H01 他大卒)	専修大学長
同 阿部 知顕氏 (S59 他大卒)	石巻専修大学長
同 稲津 久氏 (S57 商業)	前衆議院議員
同 増野 嘉昭氏 (H02 経営)	学校法人専修大学常務理事

② 黒門俱楽部推進検討会メンバー一覧

リーダー：桃野直樹校友会長

総括班：班長=木島 博、副班長=工藤 章

庶務班：班長=水崎 保男、副班長=尾崎 孝好、班員=秋田 勉、安藤 恒弘、梅田 益男、
中澤 邦彦

会計班：班長=山口 慎一、副班長=瀧本 和男、班員 市原 浩一、荒尾 大

名簿管理班：班長=山田 徳雄、班員=林 淳一、中尾 聰

広報班：班長=上島 翳男、班員=岡嶋 紀夫、吉橋 政幸、木村 光伸

支援班：班長=剣持 匠一、班員=村田 瓦、野口 健

（4）会議資料等のデジタル化への取り組み

会議付議事項等の事前理解の促進及び会議時間の短縮等を目的とし、対応可能なところから会議資料等のデジタル化を推進しており、執行部会については、校友会ホームページ上で資料の公開・共有を開始した。また、各種会議への出席確認や各種行事への参加申し込みについては、メールや Microsoft 社の Forms を積極的に活用しており、結果的に通信費の低減化にも寄与している。

（5）校友会創立 140 周年への準備・検討

明治 20 年（1887 年）に発足した専修大学校友会は、2 年後の令和 9 年（2027 年）に創立 140 周年を迎えるため、令和 7 年度は 140 周年に関する準備・検討を開始する年として位置付けており、年内に創立 140 周年事業の検討を行う委員会を設置することを予定している。また、今年度から 3 か年度にわたりこの事業を推進していく。

3. 準会員（在学生）への周知等

（1）校友会の積極的 P R

①校友会誌『鳳翼』を発行毎に生田・神田校舎の専用ラックに同誌を設置し、校友会の活動をはじめ校友の活躍等を紹介し、同会の活動実態について P R に努めている。

②専修大学専用学生寮に校友会誌『鳳翼』を設置

専修大学専用学生寮（白山・生田）のそれぞれの食堂に校友会誌『鳳翼』を設置し、校友会の P R に努めている。

（2）ワイン大学の実施（今後、予定）

昨年度は、募集人数を 20 名増やして 120 名としたにも関わらず、多くのキャンセル待ちが生じたほど人気の企画となっているため、今年度は受付開始日時を事前に予告して受付を行うよう対応する。

開催概要は以下のとおり。

①開催日時：令和 7 年 11 月 21 日（金）18 時 30 分～

②開催場所：神田校舎 10 号館 16 階「相馬永胤記念ホール」

③募集人数：120 名

④対 象：準会員（専修大学の学生）、教職員、校友、育友、賛助会員

⑤講 師：江畑 進一氏 全日本ソムリエ連盟認定ソムリエ

⑥テ ー マ：「ワインの熟成とは？」

（3）卒業生への校友会バッジ等の交付（今後、予定）

専修大学は、令和5年度から卒業式終了後に、神田校舎において学位記交付を行うこととしたため、従来、校友会が主催していた新校友歓迎祝賀会の開催が困難になっており、実施を取りやめている。令和7年度の卒業式の実施方法等は未確定であるが、前年度と同様の運営になる場合は、今年度も新校友歓迎祝賀会の開催は行わない。

そのため、平成25年度から専修大学、石巻専修大学の学部卒業生及び大学院修了生に対して配付していた「校友会バッジ」の交付に加え、校友会の案内や既存支部一覧を掲載したお知らせを配付することで、新校友へ祝賀の意を表す予定である。

II. 校友会財政基盤の強化

1. 年会費納入会員の拡大

（1）校友会員を対象にした、年会費の納入依頼発送状況

発送件数の内訳は、以下のとおり。（令和7年9月30日現在）

発送月	発送数	納入者数	納入率（%）
4月	8,999	114	1.27
6月	1,600	415	25.94
7月	3,000	35	1.17
合計	13,599	564	4.15

発送月	趣旨	発送対象
4月	住所調査	平成1～4年卒業（59歳～56歳）の年会費未納者（8,999名）
6月	年会費のご案内	・前年度年会費納入者で今年度未納者 ・代議員、支部関係者、教職員退職者、祝電送付者、及び 専SHOKU NET登録者で年会費未納者（計1,600名）
7月	住所調査	昭和46年～47年卒業（77歳～76歳）のうち、過去2年間 発送対象外であった年会費未納者（3,000名）

（2）年会費未納「代議員」への督促について（今後、予定）

校友会会則第14条第2項、「代議員は、自ら辞任を申し出るまではその地位に就く。ただし、年会費を納入しなかった者は、辞任したものとみなす」と規定されていることから、令和7年度の年会費を納めていない代議員に対し、督促の文書を、第1回目を令和7年10月下旬、第2回目を令和8年2月下旬頃に発送する予定である。

（3）住所変更の連絡に伴う年会費納入案内の送付

校友会HPの住所等変更フォームより届出が205件あった。そのうち、年会費未納の校友については、校友会誌『鳳翼』（年会費納入振込用紙付）と『校友会のご案内』を送付している。

(4) 専修大学カード入会者年会費自動引き落とし

専修大学カード入会者（496名）は、カードにより「令和7度年会費」を決済した。

(5) 卒業5年目校友への翌年度年会費の継続納入の要請（今後、予定）

平成28年度卒業生から、校友会年会費の予納金として5年分の年会費相当額（15,000円）を4年次在学時に事前徴収する制度の運用を行っている。

のことにより、卒業6年目以降は自主的に年会費を納入する必要が生じるため、令和8年3月に予納金納付期間終了となる令和2年度卒業生に対し、令和8年1月に年会費納入継続の依頼文書を送付して、翌年度以降の自発的な納入継続を要請する。

(6) 支部・役員等の協力及び各種行事に合わせた会費納入会員の拡大

①本部役員による依頼

今年度開催された支部総会等において、出席した本部役員から、年会費の積極的な納入を支部会員へ依頼している。

②資料配布による依頼

令和7年4月から9月末までに開催した支部総会等において、校友会本部からの配布資料とともに、年会費納入の「依頼文」を1,356枚配布し、納入の促進を図った。

③各種行事開催における年会費納入依頼

代議員会や定時総会において年会費納入窓口を設け、未納者に納入を促している。

(7) 年会費納入者数が増加傾向に転向

年会費納入者数は、近年、長期に渡って毎年度減少し続けていたが、数年前から年会費納入者の増加対策を前述（1）から（6）の内容を中心に、更に強化して推進してきた結果、令和3年度から6年度まで4年間の既卒者（予納金納入者は除く）の年会費納入者数は毎年増加を続け、約1,300名増加して6,000名を超えた。

今年度も増加傾向を維持することを目標として増加対策を継続推進している。

2. 「専修大学カード」入会促進

(1) 会員数及び協力店数

校友の福利、校友会年会費納入の利便性と会の財政基盤強化及び校友名簿の精度向上を図ることを目的として、平成7年12月より「専修大学カード」を発行している。今年度もカード加入の促進を図るため、校友会員及び学生会員を募った。

今年度の会員数及び協力店数は、以下のとおり。

①会員数：984名

（令和7年9月30日現在、カード会社確認：校友会員数〔法人役員・教職員、家族カード会員含む〕837名、学生会員数147名）

②協力店数：156店

(2) 「専修大学カード」及び「専修大学学生カード」の会員募集状況について

①校友会誌「鳳翼」、校友会ホームページ等において随時、申し込みの呼びかけを行い、

積極的に入会をアピールした。

②カード会社による入会申請専用紙の廃止に伴い、ウェブサイト入会の周知を図るため、対象別にリーフレットを作成し、在学生には留学オリエンテーション等で配布し、校友には代議員会や定時総会の出席者へ配布した。

また、入学生向けには大学オフィシャルサイトの「入学予定の皆様へ」ページにて、カードの紹介や入会専用サイトを掲載した。

(3) オンライン入会ご案内の配布数と、新規加入会員数は以下のとおり。

校友	学生	合計
配 布 数 : 300 通	130 通	430 通
新規会員数 : 2名	17名	19名
手数料収入 : 219,482円		

手数料収入は、カード会社（三井住友カード）から、会員募集手数料と提携手数料が校友会に還元され、予算として執行する。

(4) 国際交流センター主催、留学オリエンテーション開催時にリーフレットを配布。

国際交流事務課の協力を得て、新入留学生に対してカードの紹介を行った。

III. 母校発展への寄与

1. 学修環境整備に係る大学・学生への支援協力（今後、予定）

令和5年5月以降、大学の教育研究活動がコロナ禍前の状態に戻ったことから、教育活動や学生生活の充実に向けた環境をさらに整備し、充実した学生生活を送ることができるよう支援を行う。

2. 大学の「社会知性の開発」推進募金への支援協力（大学各種募金への協賛キャンペーンの展開）

学校法人専修大学が展開する募金事業への協賛活動として、下表のとおり年会費納入者及びターゲットを絞り、依頼状等を定例発送物あるいは各種ご案内に同封し発送した。

（令和7年9月30日現在）

月	発送趣旨	発送対象	件数	募金活動の封入	同封物
4月	住所調査	平成1年～4年卒業（59歳～56歳）の年会費未納者	8,999	① 募金趣意書簡易版 ② 寄付申込書	送付状 年会費振込用紙 鳳翼
7月	募金のお願い	2024年度年会費納入者（予納金及び募全局発送者除く）	4,538	① 募金趣意書簡易版 ② 寄付申込書	ゴルフ大会ご案内 ニュース専修 鳳翼
	住所調査	昭和46年～47年卒業（77歳～76歳）のうち、過去2年間発送対象外であった年会費未納者	3,000	① 募金趣意書簡易版 ② 寄付申込書	送付状 年会費振込用紙 鳳翼
合計		16,537			

3. 大学との協力・連携

育友会と共に、大学常勤役員との懇談会を7月30日に開催した。この会は、校友会及び育友会の役員等が、母校発展に一層の理解を深め貢献できるよう大学・校友会・育友会の三者による協力・連携の強化を図ることを目的として実施している。

4. 奨学生基金による支援

同基金による奨学生の採用状況及び給付金額は下表のとおり。(令和7年9月30日現在)

校友会奨学生	専修大学		石巻専修大学	
	採用人数	金額	採用人数	金額
経済支援奨学生 200,000円(給付)	0	0	0	0
災害見舞奨学生 100,000円(給付)	0	0	0	0
合計	0	0	0	0

5. 大学及び学生諸団体の行事・課外活動等への支援の充実

(1) 学生諸団体の行事・課外活動等への助成

学生諸団体等による課外活動の躍進によって、母校の知名度の向上が図れるよう助成を行った。(令和7年9月30日現在)

助成件数	44
助成総額(円)	12,970,000

(2) 「学生生活支援プロジェクト」の支援

専修大学の学生部は、物価高騰などで苦しい立場にある学生に経済支援を行うことを目的とした「学生生活支援プロジェクト」として、食料品や日用品等を提供する「食料品配付」、学生食堂のメニューを特別価格で提供する「応援ランチ」、安全で清潔な飲料水を無償提供し、ペットボトルなどプラスチックごみの削減が可能な「ウォーターサーバーの導入」、そして、キャンパス内的一部トイレで生理用品を無償提供する「生理用品の提供」という4本柱のプロジェクトを実行している。

校友会は、同プロジェクトの実施にあたり、200万円の支援金を寄贈した。

9月30日までの実施状況は以下の通り。

①第1弾 食料品等配付

第1回：4月8日(生田)、9日(神田) 1,080名分ブドウ糖飲料配布

第2回：4月25日 1,500名分 パックご飯等配布

第3回：5月7日 1,583名分 パックご飯等配布

第4回：7月10日 500名分 暑さ対策食品等配布

第5回：7月18日 704名分 暑さ対策食品等配布

(令和3年度からこれまでに通算17回、延べ16,812人に支援)

②第2弾 応援ランチ

650円相当のメニューに350円の助成をし、学生に300円で提供。

前期：5・6・7月実施 計6,000食

後期：10・11・12月実施 計6,000食

③第3弾 ウオーターサーバー増設

熱中症対策として、7月に生田校舎総合体育館に増設し、現在計7台が稼働している（神田3台、生田4台）。

④第4弾 生理用品の提供場所の増設

令和7年度中に5か所増設。現在13か所のトイレに生理用品のディスペンサーを設置して無償で提供している（神田5か所、生田8か所）。

利用実績：1か所あたり約180枚／月の利用

（3）石巻専修大学から専修大学経営学部への国内留学生の支援

平成29年4月に締結した「専修大学経営学部と石巻専修大学経営学部との学生交流事業に関する協定書」に基づき、令和7年度の石巻専修大学経営学部から専修大学経営学部への国内留学生が2名（うち1名は派遣直前に辞退）となることが決定した。

校友会は、国内留学生に対する支援を行った。

6. 体育会支援の強化・充実

校友会では、従来から体育会各部の強化・充実に資する援助活動を実施しているが、昨今の体育会支援において校友会に何が求められているのかを再認識するため、体育会各部との情報交換を通じて検討を行うことを予定している。

折しも、任意団体である専修大学体育会OB・OG会が校友会の支部組織化を目指し準備していることから、この支援を通じて情報交換の緒となるよう進めていく。

7. 野球・ラグビー・陸上等への特別支援

（1）野球・ラグビー・陸上への特別支援

「大学スポーツの華」として、全国の校友が最も活躍を期待している専修大学体育会「野球部」、「ラグビーパー部」、「陸上競技部」、石巻専修大学の「硬式野球部」及び「女子競走部」に対して、優秀な選手の獲得等を目的として、定時総会において特別支援助成金（合計600万円）を贈呈した。

（2）体育会監督激励会の開催（今後、予定）

全国の校友が最も活躍を期待している専修大学体育会「野球部」、「ラグビーパー部」、「陸上競技部」の監督、コーチ、OB会長を招いて、今後の支援の在り方や要望等について忌憚のない意見を聞き、それに基づいた支援や協力の可能性を検討することを目的として激励会を開催している。今年度の開催については、今後検討する予定である。

8. 「スポーツ・文化振興基金」による支援（今後、予定）

大学支援事業の一つとして、大学のスポーツ・文化活動において、優れた成績を残した団体及び個人に対し、当該活動の更なる振興を図ることにより、大学の名声を一層高めるとともに、校友会の発展にも寄与することを目的として基金を設置している。団体及び学生への奨励金は、各団体からの推薦を受け、適宜授与している。

9. 大学主催の講演会・公開講座等への協力支援（今後、予定）

専修大学及び専修大学北上高等学校が主催する『社会知性フォーラム』（令和7年12月6日（土）に専修大学北上高等学校にて開催）の実施にあたり、校友会岩手県支部連合会が後援し、協力することとなった。

10. 無料法律相談会の後援

専修大学法曹会主催（今村法律研究室・校友会後援）の無料法律相談会は、今年度も毎月1～2回（4月と8月を除く）神田校舎において実施している。9月30日までに計6回実施され、相談件数は、延べ9件であった。

今後の開催予定日は以下のとおり。

令和7年：10月14日（火）、11月11日（火）、12月9日（火）

令和8年：1月13日（火）、2月10日（火）、3月10日（火）

IV. 総会・会議等の開催

1. 代議員会

- (1) 開催日時：令和7年6月15日（日） 11時30分～12時50分
 - (2) 開催場所：神田校舎1号館3階 303教室
 - (3) 出席者数：611名（出席者156名、委任状提出者455名）
 - (4) 議案：
 - ①令和6年度事業報告・収支決算・監査報告について
 - ②令和7年度事業計画（案）・収支予算（案）について
 - ③最高顧問の委嘱について
 - ④「校友会会則」の一部改正について
 - ⑤その他
- 以上、各議案を承認

2. 定時総会

- (1) 開催日時：令和7年7月5日（土） 12時00分～14時30分
- (2) 開催場所：京王プラザホテル新宿 南館5階「エミネンスホール」
- (3) 出席者数：300名
- (4) 式次第：
 - 第一部（総会）
物故者への黙祷、校友会長挨拶、来賓祝辞、諸報告
 - 第二部（懇親会）
村山 正道氏（S48 商業、（株）立飛ホールディングス代表取締役社長並びに
佐藤 信子専修大学育友会長による乾杯により懇親会がスタートした。

特別支援金贈呈、全學應援團リーダー公開、校歌齊唱
懇親会に出席した各界で活躍する著名人（以下参照）から挨拶をいただいた。

- ・金子 正明氏（S38 商経商）メキシコシティ五輪レスリング金メダリスト
- ・石橋 孝子氏（S41 商業）ティオスグループ創業者
- ・中野 文博氏（S42 商業）マイスターバー・テンダー
- ・ボナ 植木氏（S50 人文）マジシャン、ナポレオンズ
- ・工藤 章氏（S51 商業）モントリオール五輪レスリング銅メダリスト
- ・永島 敏行氏（S54 人文）俳優
- ・桂 小文治氏（S55 商業）落語家
- ・黒岩 彰氏（S59 商業）カルガリー五輪スピードスケート銅メダリスト
- ・やまもと きょうこ氏（H03 商業）ラテンジャズボーカリスト
- ・ヒデ 氏（H06 法律）お笑い芸人、ペナルティ
- ・立川 談修氏（H07 法律）落語家

3. 会長・副会長会、幹事会、執行部会等

- （1）会長・副会長会：5回開催
- （2）幹事会：1回開催
- （3）執行部会：1回開催
- （4）執行部「各部会」：必要により適宜開催

4. 顧問・相談役・参与懇談会（今後、予定）

顧問、相談役、参与による意見交換を目的とした懇談会を開催する。

例年同様、令和8年1月23日（金）の開催を予定している。

5. 三大学校友会同窓会連絡会（今後、予定）

専修大学校友会、石巻専修大学同窓会、専修大学北海道短期大学同窓会の会長、副会長等による現状の理解と課題解決や相互の連携を図ることを目的に、年1回開催している。開催については、今後検討する。

V. 会員の親睦・福祉の増進

1. 「第40回専修大学校友会グリーンカップ・ゴルフ大会」（今後予定で、実施済み）

今年度は第40回の記念大会となるため、国内屈指の名門である「小金井カントリー倶楽部」で開催することとなった。

- （1）開催日：令和7年10月17日（金）
- （2）開催場所：小金井カントリー倶楽部（東京都小金井市）
- （3）参加申込数：79名

2. 「ホームカミングデー2025」（今後予定で、実施済み）

専修大学は、「専修大学ホームカミングデー」を周年事業化（原則5年に1度）して開催しているが、今年度は専修大学創立145周年にあたる年であることから2年ぶりに開催することとなった。

- (1) 開催日時：令和7年11月8日(土) 10時00分～15時00分
- (2) 開催場所：専修大学生田キャンパス9号館
- (3) 校友会企画：①黒門寄席

落語：立川 談修 氏 (H07. 法律)
マジック：ボナ 植木 氏 (S50. 人文)
落語：桂 小文治 氏 (S55. 商業)
②キャンパスツアー

3. 祝電サービス（祝電・弔電）

- (1) 校友である叙勲・褒章受章者、社長就任及び公職選挙の当選者、また、様々な活躍をする校友への激励等に祝電（14件）を送った。
- (2) 弔電（2件）を送った。

VII. 広報活動の推進

1. 校友会誌『鳳翼』の発行・送付

校友会総合情報誌『鳳翼』を、令和7年9月30日までに2回（4月、7月）発行し、校友会をはじめ、大学の近況を伝えるとともに会員相互の交流を図ることに努めた。

2. 校友会ホームページの充実

校友会ホームページの速報性と充実に努めた。特に、イベントの告知、校友会本部・支部における行事等の報告については、随時更新した。

好評のワイン大学については、申込開始日を事前にHP上で予告し、公平な周知に努めることとする。

また、今後、会議資料等を掲載するなどしていく予定。

3. 大学発行新聞『ニュース専修』に校友関連記事掲載、送付

校友会年会費納入者に対して、大学の現況及び校友会活動の近況等を掲載した大学広報紙『ニュース専修』を9月30日までに5回（8・9月は合併号）送付した。発送には郵便料金減額制度、ゆうメール便等を使って発送料の節約に努めた。

また、支部活動時には、『ニュース専修』をはじめ『鳳翼』、「校友会のご案内」、「年会費払込用紙」等を配布することによって、校友会活動の告知・報告や母校の動向についての情報提供を積極的に行うとともに、年会費納入促進にも努めた。

VIII. 育友会との協力・連携

1. 賛助会員への積極的勧誘

- (1) 校友会では、令和7年4月号『鳳翼』に校友会賛助会員のご案内を掲載した。
また、育友会においても、育友会支部懇談会の開催時の資料として「専修大学校友会賛助会員制度のご案内」を4,670部作成し、配布を依頼した。
- (2) 「賛助会員」の年会費納入状況（新規申込件数）
令和7年9月30日現在：納入数34件

2. 校友会・育友会連携事業推進委員会の開催

「留学生を囲む会」の開催が令和7年4月12日となったため、準備の都合から前年度の3月5日に開催した（議事内容は令和6年度事業報告書に記載）。

3. 共催事業の実施

（1）留学生を囲む会

前年度に引き続き、国際交流事務課による「新入留学生歓迎プログラム」の一環として、「留学生を囲む会」を歓迎昼食会として実施した。

①開催日時：令和7年4月12日（土）12時45分～14時40分

②開催場所：神田校舎10号館16階「相馬永胤記念ホール」

③参加者数：114名

（新入留学生27名、特別聴講生（交換留学生）6名、在学留学生18名、日本人学生18名、法人役員1名、教員9名、校友会関係者5名、育友会関係者6名ほか）

（2）常勤役員との懇談会

学校法人専修大学の常勤役員（理事長、総長、学長、常勤理事、常勤監事）をお招きし、校友会及び育友会の役員との懇親会を実施した。

①開催日時：令和7年7月30日（水）18時30分～20時15分

②開催場所：神田校舎10号館16階「相馬永胤記念ホール」

③参加者数：55名

（常勤役員11名、校友会役員20名、育友会役員16名ほか）

4. 支部相互の協力・連携の推進

毎年夏に行われる育友会の支部懇談会の開催に先立ち、育友会事務局から校友会の地域支部の支部長に対し、育友会支部懇談会の開催予定が分かる資料が送付された。

今夏においても育友会支部からの要請に基づき、校友会支部役員が懇談会に出席した支部がいくつかあり、また、校友会支部総会にも育友会支部役員が出席した支部があるなど、両会の支部相互の協力・連携が図られている。

VII. その他

1. 野球・ラグビー・陸上等のスポーツ大会への応援（激励会等含む）

野球部・ラグビー部の一部・二部入替戦出場及び陸上競技部の箱根駅伝本大会出場が決定した場合、校友会として激励会を開催することを予定している。

2. 「20 大学校友業務懇談会」の開催（今後、予定）

校友業務全般に係る事項の意見・情報交換の場であり、主に大学で卒業生にかかる事務を担当している職員を中心に運営している。

令和7年度は、12月18日（木）に明治大学駿河台キャンパスにて開催されることとなっており、本部事務局員が出席する予定である。

令和7年度 校友会本部活動報告及び予定

《本部活動報告》

R7	4/ 12	留学生を囲む会
	4/ 17	会長・副会長会
	4/ 17	執行部会
	5/ 8	令和6年度校友会監査
	5/ 14	専 SHOKU NET ワーキンググループ
	5/ 23	会長・副会長会
	5/ 23	幹事会
	5/ 28	黒門俱楽部推進検討会（第二回）
	6/ 15	会長・副会長会
	6/ 15	代議員会、代議員懇親会
	7/ 5	会長・副会長会
	7/ 5	黒門俱楽部第2回総会
	7/ 5	定時総会 2025
	7/ 11	専 SHOKU NET ワーキンググループ
	7/ 30	会長・副会長会
	7/ 30	常勤役員との懇談会
	9/ 1	黒門俱楽部推進検討会（第三回）
	9/ 24	専 SHOKU NET ワーキンググループ

《本部活動：今後の予定》

R7	10/ 17	第40回校友会グリーンカップ・ゴルフ大会
	11/ 8	ホームカミングデー
	11/ 13	会長・副会長会
	11/ 13	執行部会
	11/ 21	第17回校友会ワイン大学
	11/ 27	校友会中間監査
	11/ 28	専 SHOKU NET ワーキンググループ
	12/ 18	校友業務懇談会
R8	1/ 23	会長・副会長会
	1/ 23	顧問・相談役・参与懇談会
	3/ 12	会長・副会長会
	3/ 12	執行部会

備考：各執行部会の活動は必要により適宜実施されており、掲載は省略する。

令和7年度 校友会支部活動報告及び予定

《支部活動報告》

R7	4/12	村上・岩船支部 総会
	4/19	江戸川支部 バーベキュー大会
	4/25	西松建設専大会 総会
	5/24	宇摩鳳会 総会
	5/25	岐阜校友会 総会
	5/29	不動産建設黒門会 総会 設立 15 周年記念式典
	5/31	川崎支部 総会
	5/31	山形支部 東京分会設立に向けた意見交換会
	5/31	水戸支部 総会 講演会
	6/ 1	兵庫支部 総会
	6/ 6	十和田支部 総会
	6/ 7	社労士黒門会 総会 講演会
	6/ 8	三重県支部 総会
	6/14	野田鳳会 総会
	6/14	秋田支部 総会
	6/21	足立支部 総会 設立 70 周年記念式典
	6/28	樂水會 総会
	6/28	八王子支部 横嶋博氏旭日小綬章受賞お祝い会
	6/28	厚木黒門会 総会
	6/28	西湘支部 総会
	6/28	富山県支部連合会 総会
	6/28	南空知・美唄支部 総会
	6/28	相模原支部 総会
	6/29	会津支部 総会
	7/ 5	防府支部 総会
	7/12	筑波銀行鳳会 総会
	7/12	青森県連合会 総会
	7/12	八戸支部 総会 創立 60 周年記念講演会
	7/15	北九州支部 総会
	7/19	岡山支部 総会
	7/19	熊本県支部 総会
	7/20	愛知県支部 暑気払い
	7/25	会計人会 総会
	7/25	旭川支部 総会
	7/25	釧路支部 総会
	7/26	青森支部 総会
	7/27	オホーツク支部 役員懇談会

R7	8/ 8	苫小牧支部 総会
	8/19	成田地域支部 納涼会
	8/20	城東・城北連合支部 役員会
	8/30	佐倉・四街道支部 納涼会
	9/ 4	城南支部 川崎支部 合同阿武松部屋朝稽古見学会
	9/ 5	佐藤工業専大会 総会
	9/ 5	札幌支部 総会
	9/ 6	札幌支部 親睦ゴルフコンペ
	9/ 6	江戸川支部 市川支部 合同総会
	9/ 6	九州・沖縄連合 総会
	9/ 6	大分県支部 総会 創立 75 周年記念総会
	9/ 6	兵庫支部 淡路島鱧ツアーハーフ
	9/ 7	宮崎県支部 総会
	9/13	愛媛鳳連合会 伊予おおとり会 合同総会
	9/13	韓国同門会 総会
	9/20	中越支部黒門会 檜枝岐日帰りバス旅行
	9/20	町田支部 総会
	9/27	埼玉校友会 総会
	9/27	岩手県支部連合会 総会
	9/27	北上支部 総会
	9/27	広島支部 合宿ゴルフコンペ
	9/28	相模原支部 町田支部共催 境川クリーンアップ作戦

《支部活動：今後の予定》

10/ 4	新潟県支部 総会
10/ 4	鹿児島県支部 総会
10/ 5	大阪府支部 総会
10/11	警視庁支部O B同窓会 総会
10/11	葛飾支部 総会
10/16	流通研究会 総会
10/17	旭川支部 観楓会
10/18	緑鳳学会 総会
10/18	阿賀北支部 総会
10/18	山形支部 総会
10/18	広島支部 総会
10/18	今治鳳会 総会
10/19	北支部 総会
10/22	専修大学学内支部 総会
10/23	新宿支部 総会
10/25	京都府支部 総会
10/25	城南支部 総会

R7	10/25	函館支部 総会
	11/ 7	杉並支部 総会
	11/ 7	筑豊支部 総会
	11/ 9	静岡県支部連合会 総会
	11/15	仙台支部 総会
	11/15	佐倉・四街道支部 総会
	11/15	中越支部黒門会 総会
	11/15	墨田支部 江東支部 合同総会
	11/15	佐賀鳳会 総会
	11/21	鳥取県西部支部 総会
	11/23	奈良県支部 総会
	11/24	石川県支部 総会
	11/28	二鳳会 総会
	11/29	山梨県支部 総会
	11/29	山梨県支部 ゴルフコンペ
R8	1/24	東京都府修交会 総会
	1/31	川崎支部 賀詞交歓会

備考：上記は、各支部から開催案内あるいは報告が提出されたものを記載した。

以 上

I

令和7年度 一般会計 中間収支決算書(案)

自 令和7年4月1日

至 令和7年9月30日

《収入の部》

(単位:円)

科 目	予算額 (A)	決算額 (B)	増減(△) (A-B)	摘要
第1款 会費収入	82,599,000	81,981,000	618,000	令和7年度卒業生 4,317名 × @15,000円 = 64,755,000円 (専修大学: 4,074名 石巻専修大学: 243名) 既卒者等 5,708名 × @3,000円 = 17,124,000円 賛助会員 34名 × @3,000円 = 102,000円
				合 計 81,981,000円
第2款 入会金収入	47,000,000	47,780,000	△ 780,000	令和7年度入学生他 4,778名 × @10,000円 = 47,780,000円
1. 入学時払込金	47,000,000	47,780,000	△ 780,000	専修大学 4,470名 (定員4,000名)
2. その他払込金	0	0	0	石巻専修大学 308名 (定員 440名)
				合 計 4,778名 @10,000
第3款 雑収入	4,460,000	3,298,942	1,161,058	
1. 受取利息	60,000	274,462	△ 214,462	普通預金・定期預金利息
2. その他	4,400,000	3,024,480	1,375,520	広告料, 年会費コンビニ振込手数料, 校友会行事会費, 寄付金, 祝金
第4款 カード手数料収入	456,000	219,482	236,518	
1. 会員募集手数料	46,000	5,500	40,500	入会者 5名 (@1,000一般カード・学生カード)
2. 提携手数料	410,000	213,982	196,018	参考: 利用高 109,784,070円 * 係数0.002
経常収入計	134,515,000	133,279,424	1,235,576	
第5款 前年度繰越金	47,038,515	47,038,515	0	
合 計	181,553,515	180,317,939	1,235,576	

《支出の部》

科 目	予算額 (A)	決算額 (B)	増減(△) (A-B)	摘要
第1款 経常費	84,300,000	23,933,970	60,366,030	
1. 総会費	7,500,000	6,688,999	811,001	定時総会(ホテル経費, 参加者への記念品代他)
2. 会議費	5,000,000	954,347	4,045,653	代議員会, 幹事会, 会長・副会長会, 各種委員会他
3. 事務委託費	10,000,000	0	10,000,000	本部事務委託費
4. 執行部会経費	2,000,000	202,085	1,797,915	6部会費, 黒門俱楽部事業費, 専SHOKU NET事業費他
5. 通信運搬費	33,000,000	9,789,276	23,210,724	年会費納入依頼, ニュース専修, 会報誌, 大学募金への支援協力他
6. 印刷費	9,000,000	1,735,231	7,264,769	議案書, 各種パンフレット, 支部・行事関係, 大学募金への支援協力他
7. 備品事務用品費	800,000	241,899	558,101	事務局文房具代, OA機器消耗品代, 複合機リース代, コピ一代
8. 慶弔費	4,000,000	180,550	3,819,450	祝金,弔慰金, 見舞金, 義援金他
9. 旅費交通費	9,000,000	3,613,075	5,386,925	支部総会, 会議・行事出張旅費
10. 雑費	4,000,000	528,508	3,471,492	コンビニネット手数料, 来訪者接待茶代, 記念品代他
第2款 会報制作費	17,000,000	8,467,250	8,532,750	会報誌『鳳翼』制作費
第3款 学生活動助成金	25,000,000	12,720,000	12,280,000	
1. 学生行事助成金	2,000,000	500,000	1,500,000	鳳祭, 連合県人会, 学生自治会, 体育会表彰式等援助金他
2. 学生援助金	17,000,000	6,220,000	10,780,000	体育会, サークル団体援助金, 学修環境整備支援, 国内留学支援, 学生生活支援プロジェクト他
3. 特別支援助成金	6,000,000	6,000,000	0	野球・ラグビー・陸上への特別支援強化費用
第4款 支部活動援助金	16,500,000	2,239,818	14,260,182	
1. 支部活動援助金	13,000,000	2,239,818	10,760,182	支部総会時祝金, 参加費, 事務補助費, 特別活動補助費, 支部新設等活動補助費他
2. 同窓会援助金	3,500,000	0	3,500,000	同窓会への援助金(石巻専修大学同窓会・北海道短期大学同窓会)
第5款 事業費	11,150,000	651,423	10,498,577	
1. 入会促進費	1,000,000	317,790	682,210	入会案内書制作費他, カード募集案内
2. 校友会主催事業費	8,000,000	333,633	7,666,367	グリーンカップ・ゴルフ大会, 専修大学ホームカミングデー, ワイン大学, 留学生を囲む会, 顧問・相談役・参与懇談会他
3. 卒業記念品費	2,000,000	0	2,000,000	卒業記念品バッジ作製代
4. 校友文庫	150,000	0	150,000	校友著作図書購入
第6款 予備費	1,000,000	0	1,000,000	
経常支出計	154,950,000	48,012,461	106,937,539	
第7款 基金積立	25,200,000	0	25,200,000	
1. 校友会基金積立	15,000,000	0	15,000,000	校友会特別事業他
2. 奨学生基金積立	7,500,000	0	7,500,000	校友会奨学生基金給付金, 大学独自の奨学金への支援
3. スポーツ・文化振興基金積立	2,700,000	0	2,700,000	スポーツ・文化功労者への顕彰基金
支出計	180,150,000	48,012,461	132,137,539	
第8款 次年度繰越金	1,403,515	132,305,478	△ 130,901,963	
合 計	181,553,515	180,317,939	1,235,576	

II

令和 7 年度 校友会基金特別会計 中間収支決算書(案)

自 令和 7 年 4 月 1 日
至 令和 7 年 9 月 30 日

《収入の部》

(単位:円)

	科 目	予算額 (A)	決算額 (B)	増減(△) (A-B)	摘 要
第1款	一般会計よりの繰入金収入	15,000,000	0	15,000,000	
第2款	受取利息	80,000	0	80,000	定期預金利息(三井住友銀行神田支店)
第3款	前年度繰越金	140,786,054	140,786,054	0	
	収入の部 合計	155,866,054	140,786,054	15,080,000	

《支出の部》

	科 目	予算額 (A)	決算額 (B)	増減(△) (A-B)	摘 要
第1款	次年度繰越金	155,866,054	140,786,054	15,080,000	
	支出の部 合計	155,866,054	140,786,054	15,080,000	

III

令和 7 年度 校友会奨学生基金特別会計 中間収支決算書(案)

自 令和 7 年 4 月 1 日
至 令和 7 年 9 月 30 日

《収入の部》

(単位:円)

	科 目	予算額 (A)	決算額 (B)	増減(△) (A-B)	摘 要
第1款	一般会計よりの繰入金収入	7,500,000	0	7,500,000	
第2款	受取利息	15,000	0	15,000	定期預金利息(三井住友銀行神田支店)
第3款	奨学生手数料	30,000	0	30,000	
第4款	前年度繰越金	26,865,729	26,865,729	0	
	収入の部 合計	34,410,729	26,865,729	7,545,000	

《支出の部》

	科 目	予算額 (A)	決算額 (B)	増減(△) (A-B)	摘 要
第1款	奨学費支出	10,000,000	0	10,000,000	経済支援奨学生4,000,000円・災害見舞奨学生1,000,000円 ・大学へ5,000,000円
第2款	次年度繰越金	24,410,729	26,865,729	△ 2,455,000	
	支出の部 合計	34,410,729	26,865,729	7,545,000	

IV

令和 7 年度 校友会スポーツ・文化振興基金特別会計 中間収支決算書(案)

自 令和 7 年 4 月 1 日
至 令和 7 年 9 月 30 日

《収入の部》

(単位:円)

	科 目	予算額 (A)	決算額 (B)	増減(△) (A-B)	摘 要
第1款	一般会計よりの繰入金収入	2,700,000	0	2,700,000	
第2款	受取利息	5,000	0	5,000	定期預金利息(三井住友銀行神田支店)
第3款	前年度繰越金	14,221,484	14,221,484	0	
	収入の部 合計	16,926,484	14,221,484	2,705,000	

《支出の部》

	科 目	予算額 (A)	決算額 (B)	増減(△) (A-B)	摘 要
第1款	顕彰基金支出	2,700,000	0	2,700,000	スポーツ部門700,000円・文化部門2,000,000円
第2款	次年度繰越金	14,226,484	14,221,484	5,000	
	支出の部 合計	16,926,484	14,221,484	2,705,000	

中間貸借対照表(案)

令和7年9月30日現在

(単位:円)

借 方		貸 方	
科 目	金 額	科 目	金 額
資産の部		負債の部	
流動資産	314,178,735	流動負債	0
現金及び預金	313,478,735	前受金	0
仮 払 金	700,000	仮受金	0
固定資産	183,441,377	正味財産の部	497,620,112
器 具 備 品	1,568,110	正味財産	497,620,112
校友会基金特定預金	140,786,054	(うち校友会基金)	(140,786,054)
校友会奨学生基金特定預金	26,865,729	(うち奨学生基金)	(26,865,729)
校友会スポーツ・文化振興基金特定預金	14,221,484	(うちスポーツ・文化振興基金)	(14,221,484)
資 产 合 計	497,620,112	負債・正味財産合計	497,620,112

中間財産目録(案)

令和7年9月30日現在

(単位:円)

科 目	金 額
資産の部	
流動資産	
現金及び預金	313,478,735
郵便振替	ゆうちょ銀行東京貯金事務センター 1,184,859
普通預金	三井住友銀行神田支店 117,830,726
普通預金	三井UFJ銀行神田支店 12,589,883
定期預金	三井住友銀行神田支店 181,873,267
仮 払 金	700,000
令和7年度校友会支払準備金	700,000
	流動資産合計 314,178,735
固定資産	
器 具 備 品	1,568,110
備 品	カメラ一式 505,680
備 品	校友会旗 320,000
その他1件10万円未満合計	742,430
校友会基金特定預金	140,786,054
定期預金	三井住友銀行神田支店(校友会基金口) 140,786,054
校友会奨学生基金特定預金	26,865,729
定期預金	三井住友銀行神田支店(奨学生基金口) 26,865,729
校友会スポーツ・文化振興基金特定預金	14,221,484
定期預金	三井住友銀行神田支店(スポーツ・文化振興基金口) 14,221,484
	固定資産合計 183,441,377
	資 产 合 計 497,620,112
負債の部	
流動負債	
	負債合計 0
差引正味財産	497,620,112

(注:器具備品については取得価格で記載)

校友会創立 140 周年記念事業に関する委員会の設置について

明治 20 年（1887 年）に発足した専修大学校友会は、2 年後の令和 9 年（2027 年）に創立 140 周年を迎えます。令和 7 年度は 140 周年を記念する事業の検討及び準備を開始するとして位置づけ、令和 9 年度までの 3 年度にわたり事業を推進していく予定です。については、下記のとおり委員会を設置し、事業を進めていくことについて伺います。

記

第 1 段階

- 名称案 「専修大学校友会創立 140 周年記念事業検討委員会」
- 構成員 アドバイザー：桃野直樹校友会長
委員：総括担当副会長（会長代行）、各執行部の担当副会長名 6 名、各執行部の部長 6 名
※必要に応じて委員を追加することがある。
- 役 割 基本的な推進事業案の検討・策定と記念事業終了までの統括管理を行う。
令和 7 年 12 月から令和 8 年 5 月までの 6 か月間程度で記念事業案をとりまとめ、その後、第 2 段階の実行組織へと進む。
設置期間は、令和 9 年度の 140 周年記念事業終了まで（事後処理を含む）。

第 2 段階

- 名称案 「記念事業実行プロジェクトチーム」
※第 1 段階の委員会の下に設置
- 構成員 第 1 段階の委員会がとりまとめた記念事業案に基づき、事業内容に該当する執行部を担当する副会長数名及び執行部長数名を中心に、執行部の副部長を数名加えて適宜構成する（12 名程度を想定）。
- 役 割 記念事業案に基づいて準備・実行する。
設置期間は、令和 9 年度の 140 周年記念事業終了まで（事後処理を含む）。

【備考】 いずれも校友会事務局員が事業実施の支援にあたる。

以 上

第40回専修大学校友会グリーンカップゴルフ大会 順位表

【一般の部】 ※18ホールズストロークプレイ・新ペリア方式

(敬称略)

順位	漢字氏名	卒年・学科
優勝	黒田尊志	(平6・経営)
2位	福城雅夫	(昭50・経営)
3位	宮西正康	(昭58・法律)
4位	長谷 聰	(昭59・商業)
5位	石橋弘行	(昭60・商業)
6位	関口 悟	(昭58・法律)
7位	山口 覚	(平2・法律)
8位	村井一夫	(昭54・法律)
9位	田中 實	(昭46・経営)
10位	荒川光夫	(平5・法律)
11位	牧野甲一	(平1・法律)
12位	渡部絵美	(同伴)
13位	小神昌敏	(昭60・経済)
14位	市原浩一	(昭55・法律)
15位	矢口繁雄	(昭50・商業)
16位	小島弘邦	(昭50・経営)
17位	岩崎美紀	(同伴)
18位	井田英彰	(平10・商業)
19位	上島嗣男	(昭52・法律)
20位	本田光男	(昭60・商業)
21位	荒本隆善	(昭61・商業)
22位	藤原 茂	(昭39・経済)
23位	鏑木正好	(昭46・法律)
24位	瀬戸熊修	(昭42・経済)
25位	大塚栄寿	(平4・商業)
26位	飯塚 孝	(平9・法律)
27位	海老原洋一	(昭46・商業)
28位	鶴田英之	(昭58・法律)
29位	小松大太郎	(昭58・法律)
30位	中臺英樹	(昭60・商業)
31位	岡上芳郎	(昭60・経済)
32位	飯塚弦二朗	(昭52・経営)
33位	谷津三喜夫	(昭60・経済)
34位	矢口章博	(同伴)
35位	谷口 啓	(昭62・経営)
36位	高嶋 明	(平5・法律)
37位	鈴木秀夫	(昭45・法律)
38位	工藤 章	(昭51・商業)
39位	古市明生	(平2・商業)
40位	岡松康雄	(昭56・経済)

順位	漢字氏名	卒年・学科
41位	林 敏	(昭60・商業)
42位	笈川琢也	(昭63・法律)
43位	田村裕二	(昭58・経営)
44位	崔 明博	(昭63・商業)
45位	荒尾 大	(平1・人文)
46位	高橋利昌	(昭55・人文)
47位	大井富雄	(昭58・経営)
48位	藤井徳昭	(昭58・経済)
49位	戸井田誠志	(昭55・経済)
50位	井上光市	(昭56・経済)
51位	佐々木雅志	(昭51・経営)
52位	桑原正敏	(昭53・経営)
53位	中屋和巳	(昭58・商業)
54位	前川喜知也	(昭46・経営)
55位	山根博史	(平1・経済)
56位	桃野直樹	(昭42・法律)
57位	坂口文哉	(昭57・経済)
58位	瀧本和男	(昭53・会計)
59位	町田和義	(昭58・経済)
60位	大橋俊郎	(昭49・経済)
61位	木村光伸	(平10・法修)
62位	佐久間雄一郎	(昭46・経営)
63位	宮川文義	(昭46・商業)
64位	関 恭司	(昭62・経済)
65位	高橋嘉明	(平14・会計)
66位	中村浩樹	(昭61・経営)
67位	尾崎孝好	(昭63・法律)
68位	春日由美子	(同伴)
69位	大池眞人	(昭58・情報)
70位	増野嘉昭	(平2・経営)
71位	関 邦章	(平9・法律)
72位	市川三夫	(昭46・商業)
73位	金子正明	(昭38・商経商)
74位	木島 博	(昭45・法律)
...	蒲田重勝	(昭52・商業)

コンテスト・特別賞

【コンテストの部】

(敬称略)

一般 優勝 校友会長賞	黒田尊志	(平6・経営)
一般 2位	福城雅夫	(昭50・経営)
一般 3位	宮西正康	(昭58・法律)
シニア 優勝 理事長賞	福城雅夫	(昭50・経営)
シニア 2位	田中 實	(昭46・経営)
シニア 3位	矢口繁雄	(昭50・商業)
ベストグロス賞	石橋弘行	(昭60・商業)
ドラコンIN	荒本隆善	(昭61・商業)
ドラコンOUT	荒川光夫	(平5・法律)
ニアピンIN	本田光男	(昭60・商業)
ニアピンOUT	瀬戸熊修	(昭42・経済)

【特別賞の部】

(敬称略)

回次賞 40位	岡松康雄	(昭56・経済)
当日賞 17位	岩崎美紀	(同伴)
ブービー賞	金子正明	(昭38・商経商)

景品及び寄付提供者 ご芳名

【個人】

(卒年順・50音順)

桃野直樹様	(昭42・法律)
莊茂登彦様	(昭43・経営)
高崎孝夫様	(昭44・商業)
水崎保男様	(昭44・法律)
木島 博様	(昭45・法律)
工藤 章様	(昭51・商業)
上島嗣男様	(昭52・法律)
山田徳雄様	(昭52・法律)
鴨志田洋様	(昭61・商業)
尾崎孝好様	(昭63・法律)
山根博史様	(平1・経済)
溝田勝彦様	(平4・経営)
山口美代子様	(平12・経営)

【法人】

佐藤工業専大会様
株式会社専大センチュリー様
学校法人専修大学理事長 松木健一様

今後の会議・行事等日程について

令和7年

11月21日（金）18：30 第17回専修大学校友会ワイン大学

〈場所：神田校舎10号館16階「相馬永胤記念ホール」〉

11月27日（木）15：00 校友会中間監査 〈神田6号館5階会議室〉

* 対象：監査、総務企画部及び財務部の担当副会長、担当部長

令和8年

1月23日（金）18：00 「顧問・相談役・参与懇談会」

〈場所：神田10号館16階「相馬永胤記念ホール」〉

3月12日（木）19：00 「執行部会」〈場所：神田キャンパス内〉

* 令和7年度事業計画（案）、予算（案）について

《参考》令和8年度 主要行事予定

代議員会 令和8年6月13日（土）もしくは14日（日）〈場所：神田キャンパス内〉

定時総会 令和8年7月11日（土）〈場所：都内ホテル〉

以上